

中間報告会

「対面」と「オンライン」併用



教職大学院2年次院生が、これまでの研究・実習の省察及び成果や課題等をまとめ、研究課題解明へのプロセスや今後の研究の方向性を確認します。

日時 令和8年11月14日（土） 8:40～15:30

場所 弘前大学教育学部 & Zoom によるオンライン会場
【第1会場】1F大教室（主会場）、【第2会場】2F大教室
※【 】はオンライン上の会場名

日程

受付	8:20～8:35	教育学部1F大教室前
※オンライン参加者は、この時間帯に【第1会場】にお入りください。		
(1) 開会行事	8:40～8:50	【第1会場】1F大教室
(2) M2学校教育・教科領域実践コース研究報告	9:00～11:50	【第1会場】1F大教室、【第2会場】2F大教室
(3) 昼食・休憩	11:50～12:40	
(4) M2ミドルリーダー養成コース研究報告	12:40～15:11	【第1会場】1F大教室、【第2会場】2F大教室
(5) 閉会行事	15:20～15:30	【第1会場】1F大教室

参加
無料

◆ 終了後、修了生・院生対象の交流会（ホームカミングデー）を開催します。（～17:20）
※ 修了生へは、後日メールにて連絡いたします。

参加申込について

- 申込期間: 10月12日（月）～11月9日（月）
- 申込方法: 右QRコードまたは下記URLからお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/XmVzT9k5mk>



※ 教職大学院ホームページからも申込みが可能です。
トップページ左下の「中間報告会」の「申込みフォーム」をクリックしてください。

ACCESS

- JR 弘前駅からのアクセス
- ・ 徒歩約20分
 - ・ バス約10分
駅前3番のりば乗車
「弘前大学前」下車
 - ・ タクシー約5分

- 主催: 弘前大学大学院教育学研究科 教職実践専攻〔教職大学院〕
- お問い合わせ: 弘前大学教職大学院 入試フォローアップ部会 山田 彰利
TEL 0172-39-3412 Email attoki0947@hirosaki-u.ac.jp

M2 学校教育実践コース・教科領域実践コース研究報告

順	時間	場所	【第1会場】1F大教室	【第2会場】2F大教室
1	9:00 ~ 9:22		遠藤 佳子 (養)	武田 遼 (高社)
2	9:24 ~ 9:46		福岡 寛丈 (中理)	有働 将之 (高数)
3	9:48 ~ 10:10		松田 怜紗 (小)	小山内 緋流 (高国)
	10:10 ~ 10:20		休憩	休憩
4	10:20 ~ 10:42		村山 梨玖 (小)	斎藤 広和 (高英)
5	10:44 ~ 11:06		渡辺 結衣 (養)	相馬 龍乃介 (高社)
6	11:08 ~ 11:30		羽場 匠洋 (中数)	5名終了後すぐに講評
講評	11:30 ~ 11:50		教職大学院 教員 川端 良介	弘前実業高等学校 校長 下山 敦史

M2 ミドルリーダー養成コース研究報告

順	時間	場所	【第1会場】1F大教室	【第2会場】2F大教室
1	12:40 ~ 13:05		福田 正道 (特支)	佐々木 洋子 (小)
2	13:07 ~ 13:32		三國 里美 (高国)	櫻庭 レミ (中数)
	13:32 ~ 13:42		休憩	休憩
3	13:42 ~ 14:07		葛西 健介 (中英)	工藤 愛美 (小)
4	14:09 ~ 14:34		松浦 里美 (特支)	篠原 英樹 (中体)
5	14:09 ~ 14:34		横濱 知愛 (養)	4名終了後すぐに講評
講評	11:30 ~ 11:50		教職大学院 教員 砂田 大樹	弘前大学教育学部附属小学校 校長 繁在家 康文

研究テーマ一覧

	氏名	研究テーマ (副題含む)
M2 学校教育実践・教科領域実践コース	遠藤 佳子	保健室来室記録を活用した自律的健康観育成への働きかけ ～可視化と言語化に着目して～
	斎藤 広和	生徒の学習意欲を高める導入のあり方に関する一考察 ～英語コミュニケーションⅡでの実践を通して～
	松田 怜紗	「交流及び共同学習」の充実に向けた一考察 ～図画工作科における対話から見通しをたてる場面の創出～
	村山 梨玖	自己効力感を高めるための教師の効果的な働きかけ
	渡辺 結衣	当事者意識を持たせられるような外傷予防教育について ～頭部外傷の罹患性と重大性に着目して～
	有働 将之	高等学校数学科におけるユニバーサルデザインに基づく授業づくり ～全ての生徒が「参加・理解」できる授業を目指して～
	小山内 緋流	高等学校国語科における文学の解釈を深めるための授業づくり
	相馬 龍乃介	高等学校公民科における思考力・判断力・表現力を養う授業実践
	武田 遼	生徒が歴史を現在と関連させて捉えることができる歴史授業実践とはどのようなものか
	羽場 匠洋	中学校数学科における生徒の苦手意識の克服のための「学び合い活動」を重視した授業実践 ～相互評価を取り入れて～
M2 ミドルリーダー養成コース	福岡 寛丈	中学校理科における学習行動への影響について ～授業UDと興味に注目して～
	葛西 健介	教育内容・教材のレリバンスがある授業づくりに関する考察 ～中学校英語の授業に着目して～
	工藤 愛美	教師の「学び合い」コミュニティの構築に関する実践研究 ～子どもを「見取る力」の向上を通して～
	櫻庭 レミ	生徒のキャリア発達を促す協働的な支援体制の構築 ～キャリア・パスポートの実践と省察による教員の指導観の深化～
	佐々木 洋子	感情に寄り添う安心な学級づくり ～SELと授業改善の一体化を通して～
	篠原 英樹	短時間の話し合い活動が生徒の共同体感覚に及ぼす影響
	福田 正道	「垂直的ロールモデル」の実践と「教師の見取り」の変容による児童生徒の「自己決定」の創出 ～異学年・異学部交流を通じた共同エージェンシーの発揮～
	松浦 里美	特別支援学校における教育的鑑識眼の言語化と共有 ～ルーブリックの協働作成と活用を通して～
	三國 里美	定時制高校生の社会的自立を支える地域協働の実践 ～コミュニティ・スクールを起点として～
	横濱 知愛	生徒の主体性を育む保健教育の在り方の検討 ～「地域活性化プロジェクト」の実践を通して～